

かわぐち

11月号
2008
No.421



響～10.23 大地からのメッセージ

＝今月号の主な記事＝

特集:「まちづくり交付金事業」事業評価 … 2～4ページ

- 和南津地区総合防災訓練…………… 5ページ
- いつまでも健康な体でいられるために… 6～7ページ
- 響【HIBIKI】10.23大地からのメッセージ… 8～9ページ

中越大地震から4年……。

川口町から全国に向け元気な姿を発信しよう
と行われた、震災復興祈念物産展「響」。
町内外から大勢の方々が来場し、秋の一日を
楽しみました。

(10.26 川口町運動公園体育館駐車場)

かわぐち いきいきびと

町内の団体、サークル等を紹介し、掲載を希望の方はご連絡ください。(総務課 ☎89-3111)

川中よさこいクラブ

川口中学校では、「川中タイム」という総合学習の時間を設け、一人ひとりがテーマを決めて活動しています。

私たちは、佐藤栄美子さん(川口5)を講師に現在11人でよさこいで川口町を笑顔にするために練習しています。今年の川口まつりや、先日行われた震災復興祈念物産展などに参加しました。今後も積極的に様々なイベントに参加する予定ですので、私たちのよさこいを是非ご覧ください。



川口町に元気を発信しよう

大淵 成美

私たちは今年度「川中から元気を発信しよう」や「川口町を笑顔にしたい」というテーマを設定した11人が、川中よさこいクラブとして活動することになりました。講師の佐藤さんをはじめとする商工会の方々の全面協力のもと、川口祭りでよさこいを踊ることを目標に練習してきました。

最初は全く出来ませんでした。踊っていくうちに体で感じを覚え上達していきました。

私はこのよさこいを通じて、笑顔の大切さを学びました。よさこいは笑顔で踊らないと元氣に見えないし、楽しそうに見えません。私たちが笑顔でいることが川口町を元氣にする第一歩だと思います。

最後に、私たちの活動に協力してくれた方々、3回の発表を見てくれた町の皆さん、ありがとうございました。

これからも川中よさこいクラブは、よさこいを通じて川口町に元気を発信していきたいと思います。



TOSHIBA 東芝照明プレジジョン株式会社 Leading Innovation >>> 新潟事業所

当事業所の製品は、
液晶テレビ、携帯電話、照明ランプの部品として
皆様のご家庭だけでなく、広く世界中で活躍しています。



〒949-7504
北魚沼郡川口町大字川口字前島1979
TEL 0258-89-2360(代)
FAX 0258-89-3236
ホームページ <http://www.toshiba-tosp.co.jp>

応援サポーター



心から心へ。
人と人、人と地域を結ぶ
信越工業の製品。



SK 信越工業株式会社
〒949-7504
北魚沼郡川口町大字西川口528番地
TEL 0258-89-2320
FAX 0258-89-2880
E-mail info@shinetsu-k.co.jp
ホームページ <http://www.shinetsu-k.co.jp/>

家をつくりつづけて55年
今後ともよろしくお願ひ申し上げます

丸山工務店

代表取締役 丸山 智義

小千谷本社 TEL 82-3242 FAX 82-0580
川口支店 TEL 89-3038 FAX 89-3379

応援サポーターを募集しています!

町の情報発信や、町民の足として活躍している「広報かわぐち」、「町営バス」、「町ホームページ」をあなたの会社やお店の新たな広告媒体として利用しませんか。

詳しい規格等については、総務課までお問い合わせください。○総務課 ☎89-3111

●目標を定量化する指標の達成状況

指標	単位	従前値 H16	目標値 H20	現在値 H20.10	目標達成度	
指標 1	地区の居住者数	人	1,425	1,185	1,214	○
指標 2	克雪施設の利用者数率	%	70	80	88	○
指標 3	生活環境の満足度	%	57	65	50	×
その他 の指標	地域コミュニティの形成	回	0	-	13	○

＝評価結果のまとめ＝

まちづくり交付金事業

「良好な居住環境の形成により、ふるさとの暮らしがよくなるまちづくり」を目指して

「まちづくり交付金事業」は、地域特性を活かした個性あふれる「まちづくり」を実現し、地域の再生を効率的に推進することにより、住民生活の質の向上と地域社会の活性化等を図ることを目的としています。また、事業実施前にまちづくりの目標、具体的な指標の設定を行い、最終年度に事業評価を実施して、事業効果、数値目標の達成状況、課題の確認と今後のまちづくり方策を作成・公表することとなっています。



東川口地区
事後評価原案を公表します

＝事業の目標＝

- ① 克雪、雨水排除、防災施設の整備を行い、生活環境の利便性、快適性を高める。
- ② 道路整備により、交通網の確保、袋小路を解消する。
- ③ 地域活動拠点を整備し、地域コミュニティ、地域活動を推進する。

◎指標 1 地区の居住者数

住環境を整備することにより、中越大震災以降急激に減少している居住人口に歯止めをかけ、住みよいまちづくりを目指す。

【従前値】 1,425人

【目標値】 1,185人

(H20年度)

◎指標 2 克雪施設の利用者数率

地区の最重要課題である冬の期間の排除雪作業における労力、作業時間を低減し、住環境の向上を図る。

【従前値】 70% (H16年度)

【目標値】 80% (H20年度)

◎指標 3 生活環境の満足度

地域基盤施設整備により生活環境を充実させることで、居住者の定着、地域コミュニティ活動の活性化を図る。

【従前値】 57% (H16年度)

【目標値】 65% (H20年度)

◎指標 1

事業実施により、中越大震災以降激減していた、居住人口に歯止めがかけられました。

◎指標 2

克雪施設未整備区間に、流雪溝を整備したことにより、排除雪作業における労力、作業時間の低減などの、住環境の向上が図られました。

◎指標 3

震災以降の財政的な事情から計画を大幅に縮小したことにより、全部の克雪施設未整備区間の解消が図れなかったため、地区全域の生活環境改善には至りませんでした。

◎その他の指標

提案事業に伴う効果として、まちづくり団体が結成され、地域コミュニティ「よってげてえふれあい市」が毎月第3日曜日に開催され、地域内の連帯感、情報の交換及び発信源の場となっています。

＝実施した事業＝

《計画期間》

H16年度～H20年度

《面積》

42 ha

《交付対象事業費》

362百万円

《国費率》

40%

●地域生活基盤整備

生活環境の利便性、快適性の向上

《流雪溝》 自由勾配側溝 B

0.4～0.5m L=380m

《流雪溝用揚水機場》

揚水機場1基



●道路

交通網の確保、袋小路道路の解消

《町道東川口環状線》

W=7.0m L=540m

●公園

地域コミュニティ、地域活動の推進

《水辺プラザ親水やすらぎゾーン》

(広場、散策道、花壇、駐車場)

A=3158㎡

●提案事業

まちづくり活動推進事業

《ふれあい公園他活用支援》

計画策定業務1式



「よってげてえふれあい市」

水辺プラザ 種蒔きの様子

東川口環状線



公園



キラリまちづくり部会会議の様子



空き地への植栽の様子

実施過程の評価

今後のまちづくりの方策

(改善策を含む)

住民参加プロセス

震災以降、地区住民による「東川口震災復興委員会」が設立され、住民と行政が協働で計画を作成。

平成17年度及び18年度に計17回実施。地区の課題を抽出し、計画策定に活かすことができ、当初計画したものの以上ものとなりました。
今後も継続した、住民参加プロセスを取り入れていくとともに、住民の主体的な活動を、地域復興支援センターと共に後方支援をしていきます。



東川口震災復興委員会会議の様子

継続的なまちづくり体制の構築

「東川口震災復興委員会」のまちづくり実践組織「キラリまちづくり部会」により活動が開始され、河川公園や空き地等への花の植栽、地域コミュニティ「よつてけてえふれあい市」の開催、地域の再発見活動など、継続的に実施され、地域活動の意識が高揚し、新たな布石となりました。



キラリまちづくり部会の活動の様子

① 克雪設備と雨水対策
人口の減少にさらに歯止めをかけるために、克雪施設未整備地区の早期整備及び、近年の異常気象による雨水対策を実施し、良好な居住環境、生活環境の整備を行います。

④ 商店街の活力
古くから三国街道の宿場として栄えた、貴重な歴史と伝統に満ちた土地柄であり、これらを未来へ伝承・伝達し、かつての宿場であったイメージや、町の中心街としての視覚的景観効果で商店街の活力を誘発させる必要があります。

③ 地域の伝統行事

地域コミュニティの醸成に大きな役割を担う地域の伝統行事について、人口の減少、高齢化が大きな影を落とし、その存続自体が危ぶまれている中で、町内会、商工会、青年会を中心とし運営存続を試みており、行政はその活動の側面支援を行います。

⑤ 避難空間と防災物資

東川口は、町の中心市街地であるが、避難空間の不足、ならびに防災物資の不足が懸念されており、緊急な整備が必要です。

⑥ 川口駅前広場

町の玄関口としての駅前には、旧来からの部分的な整備の蓄積で画一的整備が遅れており、放置自転車等による公衆被害も発生していることから、駅前広場としての本来の機能を発揮させる必要があります。

◎この事後評価を基に、来年度、次期計画を策定し、事業を推進していきます。

和南津地区「もしも」に備えて... 総合防災訓練を実施

10月26日(日)、和南津地区農村公園において、同地区の総合防災訓練が行われました。

「震度7の地震が発生し、国道が上下線とも寸断され和南津地区が孤立した」との想定のもと、避難、情報伝達、安否確認、けが人搬送、炊き出しの訓練のほか、地元消防団の第2分団による土のう積み訓練、小千谷地域消防署による救急救命講習や消火器の取扱い訓練など多岐にわたり、住民の皆さんはそれぞれの訓練を真剣に取り組んでいました。



○避難訓練

避難勧告発令とともに農村公園に避難開始。負傷者を気遣いながら迅速に避難。



○けが人搬送訓練

重傷者をリアカーを使い、救急車まで搬送しました。



○土のう積み訓練

地元の消防団の指導による土のう積み訓練です。水路から溢れ出た水から住宅を守ります。



○炊き出し

各家庭にある物を持ち寄った炊き出し訓練。この日の昼食になりました。



○起震車による地震体験

新潟県所有の起震車を使い、震度7を再体験。



主催者より

和南津地区自主防災会長
覚張豊昭さん(上河原)

未曾有の被害をもたらした中越大地震から4年が経ちました。当地区は、大震災を経験し、地域内での防災意識が非常に高まっており、平成19年10月23日に和南津地区自主防災会を設立し、昨年に引き続き2回目の防災訓練となりました。

大勢の地域住民の方が参加し、町や小千谷地域消防署の方々からの協力をいただき、滞りなく訓練を行うことができました。ご協力をいただいた皆さんに、深く感謝申し上げます。
高まった防災意識を落とさないよう、訓練を続けていきます。



いつまでも

健康な体でいられるために

栄養のとり過ぎや偏り、運動不足などの日常の良くない生活習慣は、病気の発病や進行に大きく関係しており、さまざまな生活習慣病を引き起こします。日ごろの食生活や運動習慣を振り返り、自分自身で健康づくりに取り組みましょう。今回は、健康づくりについての取り組みをご紹介します。



10月13日 健康づくりイベントの様子

健診結果を健康管理に活かしましょう

メタボリックシンドロームの要因である内臓脂肪を減らすと、高血圧症、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病の進行を食い止めることができます。この内臓脂肪をチェックし、メタボリックシンドロームのリスクを見つけるために行われるのが、「特定健診・特定保健指導」です。

「特定健診・特定保健指導」は、メタボリックシンドロームあるいはその予備軍を早期に発見し、自覚症状のない段階から、生活習慣の改善を目的としています。すでに健診を受診された方には、現在、保健師が健診結果をお返ししています。

健診結果からメタボリックシンドロームのリスクが見つかった方には、12月頃（予定）から始まる特定保健指導への勧誘もしています。ぜひ、この機会に自分の生活習慣を見直し、健康管理に努めましょう。

なお、今年の健診は11月16日が最後です。受診されていない方は、ぜひ受診するようにしましょう。

「健康づくりの日」イベントを開催

町では、健康づくりについて町民の皆さんからもっと関心を持っていただき、また実践していただく日として、今年から町民ふれあいデーにあわせ「健康づくりの日」を設けました。

10月13日の当日は、天候にも恵まれ、延べ190人の方が来場しました。ウォークラリーやトレーニングルーム無料体験、ヨガ体験で気持ちよい汗を流し、カロリー当てクイズや健康料理の試食をしたりと、楽しく過ごした1日となりました。

健康づくりイベントに参加して

川口1・中林喜美さん

おばあちゃん、子どもたち、私の5人でウォークラリーに参加しようと出かけました。楽しくて結局全部のコーナーに行き、子どもたちは竹馬と大縄跳びでたくさん汗をかきました。栄養満点の試食はおいしく、下の子の食べっぷりはすごかったです。家族一緒に体を動かせたことで、会話ははずみ楽しい一日でした。



国民健康保険健康優良世帯に記念品を贈呈

増加傾向にある医療費の削減と、健康で明るい生活を多くの方から築いていただくために、町では要綱を制定し、1年間医療機関を受診されなかった世帯を「国民健康保険健康優良世帯」として表彰し、町民の健康づくりに対する意識啓発や健康増進を図ることになりました。

健康優良世帯の対象は、前年度から引き続き国保に加入している世帯で、①前年度1年間の中で医療機関を受診しなかった世帯 ②国保料を完納している世帯です。

今回は21世帯が該当し、記念品と健康証を贈りました。



贈られた健康証

運動を始めて体調が良くなりました

「いきいきアップ」で体力づくり

「最近、筋力や体力が落ちたなあ」と感じたり、「運動不足で腹囲が大きくなった」と感じたりすることはありませんか？

要介護状態や生活習慣病を予防し、健康でいきいきとした生活を送るために、運動することはとても大切です。

町では、川口温泉のトレーニングルームを活用して、週2回専門のインストラクターによる各種運動の指導を中心とした「いきいきアップクラブ」を実施し、運動指導、健康相談、食事指導、体力測定などを行っています。

毎週月曜日と木曜日の週2回、午後1時から5時までの都合のよい時間帯で参加できますので、利用してみたいかがでしょうか？



夫婦2人とも体調が良くなりました

中山・古田島克治さん

「いきいきアップクラブ」に参加し、トレーニングルームでの運動を始めて2年半、毎回夫婦で来ています。

運動を始めた頃は、膝の痛みがあり、骨密度は骨量減少の領域と骨粗しょう症一歩手前の数値でした。トレーニングルームでの運動を続けてきた効果か、今では膝の痛みもやわらぎ、骨密度も正常値となりました。また、血圧も安定しており、おかげさまで夫婦2人とも体調が良くなりました。



○申込み・問い合わせ

町民福祉課

☎89-4418

「食」の大切さを伝えたい...食生活改善推進委員

「四季の健康家庭料理集」を作成

食生活改善推進委員の皆さんが、中越地震以後に仮設集会所を巡回して広めた「コンロひとつでアイデア料理」を基に、「四季の健康家庭料理集」を作成しました。

今後健康料理教室などで活用していきますので、興味のある方は、お近くの食生活改善推進委員または町民福祉課保健係（☎89-4418）までお問い合わせください。



「四季の健康家庭料理集」

食生活改善推進委員からの一言

八郎場・小林由美子さん

食生活改善推進委員は、子供から高齢者まで幅広く食育活動を提供し、生活習慣病の予防、地産地消の推進のほか、郷土料理の継承も進めています。

現在川口町では、14名の推進委員が各地域で活動しており、食の大切さを伝えると共に、「妊産婦保健相談」「機能訓練事業」など町の保健事業にも協力しています。

中越地震直後には「コンロひとつでアイデア料理」を考案し、仮設集会所を廻り手軽にできる健康料理を2年半に渡り伝達、このたび、そのレシピ集「四季の健康家庭料理集」を復興基金で作り、各地域において健康料理講習会を行っています。10月13日の健康イベントにも、この中からいくつかの料理を試食として提供いたしました。

食育は生涯にわたる健康づくりの基礎となる大切なものです。私たち食推も、地域の食育と健康づくりのお役に立てるよう、これからもしっかりと学習し、活動を進めて行きたいと思っています。

教えてください！

私の健康のヒケツ

国民健康保険健康優良世帯に該当された方に、健康の秘訣を伺いました。

●毎日散歩したり、とにかく動いています。山野草が趣味なので、週に1回は山に出かけ歩いています。食事は野菜を多く摂るようにしています。それと、ストレスを感じないことが大事。いろんな人と交わるのが楽しいです。
(66歳・女性)

●犬を飼っているのですが、朝夕あわせて1時間くらい散歩をしています。好きなものを食べているし、特に健康に気をつけてはいないけど、友だちと出かけた時、バイクに乗って出かけた時、バイクに乗って出かけた時、バイクに乗って解消になっています。
(67歳・女性)

●晩酌もするし、好きなものも食べているし、特に健康に気をつけてはいない。ただ幸いなことに今まで大病したことがなかった。強いて言えば、周りのことをあまり気にしないで、自分があったりズムで毎日を過ごすことかな。
(70歳・男性)

ボランティア同窓会

10月12日〜13日

震災時に全国各地から支援をいただいたボランティア60人が来町し、各地区の方々は、交流を深めるとともに、震災時の感謝の想いを伝えました。また、遊歩道整備や震災復興祈念植樹に参加し、地域の方々とともに汗を流しました。そして震災で生まれた、人と人とのつながりは、またたく大きく広がるとともに再会を誓い合いました。



地震センター(仮称)プレオープン

10月13日・26日

地震発生から4年が過ぎ、記憶の風化を防ぐために当時のエピソードをひとつでも多く集めて未来に伝えるため、地域の方から寄せられた地震当時の記録を紹介しました。これからもずっとつながっていく「絆」のコーナーでは、訪れた方から当時を振り返り、「震災は災害ですが、そんな時に芽生えた絆は強く、永く残るものだと思います」などのコメントが書き込まれていました。



震災復興祈念植樹「ふるさとの森づくり」

10月13日・26日

中山運動公園ゴルフ場跡に植樹を行い「ふるさとの森」として、震災復興のシンボルや地球温暖化防止、町民憩いの場としての活用を図る取り組みが行われました。当日は、町民や震災当時のボランティアの皆さんなど120名が参加、第1ホール約4000㎡にぶなの苗木600本を植樹しました。



震災被災地市民サミット

10月23日

中越地震の震源地である当町において、全国の震災被災地の市民が一同に会し、お互いの活動の情報交換や復興に向けた思いを共有し、被災地の一体感を生み出し、県知事を交えて、復興に向けた取り組みについて熱い議論が交わされました。



追悼式典

10月23日

地震発生時刻の17時56分に黙祷を行い、川口中学校3年生が昨年の卒業生から引き継がれたキャンドルに火を灯し、哀悼の意をこめて献灯しました。また、県知事も灯りを灯したキャンドルメッセージや、Candle JUNEさんのキャンドルデコレーションで会場はロウソクの灯りに包まれました。来場者は、炊き出しのシチューを食べながら「来年もまた来たいです」と心も体も温めていました。



響

【HIBIKI】
～10.23大地からのメッセージ～

トキめき新潟国体
川口町炬火採火式

10月23日

震災地において、震災から4周年を迎え、さらなる川口町の復興を祈念する「感謝」「希望」「絆」の3本の光の柱から地区総代、小・中学生、えちご川口交流ネットRENの代表と国体強化選手の大淵芳森さんが採光し、炬火として採火しました。炬火名は、中越大地震の本震「震災地」の採火にちなんで命名されました。この炬火は来年の本大会まで保管され、開会式で県内全市町村の炬火が集火されます。



震災復興祈念物産展「響」

10月26日

全国からの支援に感謝の思いを発信し、地震に負けずがんばっていることをPRするために行いました。県外3団体、町外12団体、町内8団体が出店し、会場は物産を買い求める大勢の人でにぎわいました。また、にぎわいステージでは三味線や悠久太鼓、吹奏楽の演奏、劇団による演劇、ブレイクダンス、パフォーマンスや川口・小千谷・長岡のよさこいチームの競演などが行われ、来場者は秋の一日を楽しんでいました。



黄色いフラッグ大作戦

10月16日〜30日

昨年に引き続き行われた、黄色いフラッグ大作戦。今年も町民の皆さんや、小・中学校の児童・生徒、商工業の皆さんなどから協力してもらい、感謝のメッセージが書き込まれた約3000枚の黄色いフラッグが町中を埋め尽くしました。



防災グッズ・震災写真展

10月1日〜30日

訪れた方の誰もが、地震当時の被災写真や防災グッズに見入り、地震直後の状況を重ね合わせ、あらためて被害の大きさや当時の様子を思い出していました。



カメラは見た!



10月8日 マリンバアンサンブル

川口小学校において、「MAR(ま〜る)」の皆さんによるマリンバアンサンブル演奏会が開催されました。マリンバのほか、スプーンや体を使った楽しい演奏に児童達は興味津々。また、「MAR」の皆さんと一緒に体を動かしたり、マリンバを実際に演奏したりと、充実した時間を過ごしました。



9月27日 収穫の喜び

田麦山地区において、芋掘りや落花生の収穫などを行いました。当初「稲刈ツアー」を計画していましたが、雨天のため変更となりました。収穫終了後はコシヒカリを使用した昼食会で、約90人の町外の皆さんと交流を深めました。



10月12日 野球選手権大会

運動公園野球場において、町野球協会主催による野球選手権大会が開催されました。4チームでのトーナメント戦が行われ、熱戦が展開されました。

優勝 カイザー
準優勝 役場チーム



今年のテーマは「ディズニー」 運動会

各保育園において運動会が開催されました。園児達は、綱引きや玉入れなど、日ごろの練習の成果を発揮し、一生懸命に頑張りました。遠くから駆けつけてくれたシンデレラから、頑張った褒美をもらいました。



9月27日 東川口保育園



西川口保育園 10月4日



毎年恒例となった町民ふれあいデーが、すば〜く川口で行われました。天気にも恵まれ、青空の下行われたグラウンドゴルフでは各地区熱戦を繰り広げました。また、たくさんの新鮮野菜やきのこなどが入った、えちご川口生産者協議会の皆さんによる特製あぐり汁には、長蛇の列ができるほどの大盛況でした。



10月13日 町民ふれあいデー



全国防犯協会連合会が行う防犯功労者表彰で、地域安全活動に尽力した功労により大淵新司さん(大谷内)へ、全国防犯協会連合会長から防犯栄誉銅章が贈られました。大淵さんは1989年から20年間少年補導員を務め、中越大地震の際も地域の見回りを行い、地域の防犯に務めてきました。今後も活躍が期待されます。

10月13日 大淵新司さん 表彰

「まこもを多くの人に知ってもらいたい」と企画され、和南津地区で開催されました。町内外から集まった25人の参加者は2mほどに成長したまこもに驚いた様子でした。収穫後、まこもの天ぷらやサラダなどを味わい生産者との交流を深めました。



9月28日 まこも収穫体験

魚沼市において、中学1、2年生の新人戦が行われました。3年生から各部活動の未来を託された1、2年生は、卓球、ソフトテニスの個人戦で優勝するなど、華々しいデビューを飾りました。

(結果は、16ページに掲載)



10月1日 中学校新人戦

10月18・19日 穴水町の皆さんが来町

昨年の能登半島地震で被害に遭われた、石川県穴水町の皆さんが18日に来町し、東川口地区住民と交流を深めました。翌日19日には「よってけてえふれあい市」に出店し、能登の特産品である新鮮なサザエのつば焼きの無料サービスや、干物の特売などを行いました。



10月5日 コスモスまつり

中山・さんご山(旧スキー場)において、「ふるさと夢づくりの会」主催によるコスモスまつりが開催されました。町内外から約70人の参加があり、山頂での凧揚げや紙飛行機とばし、コスモス畑の一面でサツマイモ堀も体験。お昼にはパーベキューも振舞われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。



田麦山地区公民館で 通学合宿を実施



10月9日、11日（2泊3日）、田麦山地区公民館（旧田麦山小学校）で、川口小学校5年、6年を対象に「通学合宿」が行われました。

通学合宿は、平日に集会施設に宿泊し、そこから学校へ通う活動で、通学合宿を通じて、親のありがたさ、家族や友達の大切さを再認識してもらい、社会性、自主性、協調性を伸ばし、「生きる力」を育むことを目的に行われたものです。旧田麦山小学校では学校行事で行われていたが、統合により町の社会教育事業として初めて取り入れたものです。

川口小学校の児童15名が参加し、それぞれ目標を設けて、規則正しい生活を行い、調理、勉強、もらい湯など様々な体験をしました。

◎参加した児童の感想

星野明日香
この通学合宿で、色々な事を学んだし、目標も守れたので良いなあと思いました。これから家でも一人でできるようにしたいです。

村山 美咲
通学合宿をして思ったことは、学校で話さない人といっのまにか話をしていてうれしかった。

吉沢しずく
私は、目標の協力すること、楽しい合宿にすること、二つ守れたと思います。これからもこの合宿を生かし学校でも家でも協力しあって生活していきたいです。

鈴木 花奈
みんなでご飯を食べたり、勉強したり、お風呂に入ったり、寝たり、遊んだりしてとても楽しかったです。

震災復興4周年記念 町民俳句大会

今年で18回目を迎えた町民俳句大会。計632句の投句があり、10月18日、末広荘にて表彰式が行われました。町長賞及び教育長賞に入賞した方は次のとおりです。

(敬称略)



町長賞
川小1年 めぐるさやか
川小5年 山田 魁人
川中3年 小林 彩
丸山 好枝

教育長賞
あきのそらいろんなくもでたのしいな
夕立がプレゼントしたにじのはし
向日葵は太陽見つめ焦げてゆく
地震のこと思ひだしつつ大根蒔く

入選句(一般の部)
逝きし人偲べば悲し鉦叩
跡取りと云う名を背負ひ墓洗ふ
句碑の道見知らぬ人と秋惜しむ
下駄はきて帯にさしたる秋団扇
秋風に一節添へる虫の声
盆前のすだれを濡らす雨しとど
酒少し残る茶碗や盆踊り
鈴虫の音色聞きつつ夜は更ける
草は穂に山の畑の日は西に
一人聞かぬ夜の虫時雨極まりぬ
盆踊り酒の力で踊りけり
魚沼や原一面の稲の花

川小1年 みずおちなせ
川小2年 ささきせな
川小5年 関 ちさと
川小5年 中林しゅんすけ
川中1年 小林 千紗
川中2年 小林 凌輔
川中3年 覚張ちはる
中沢 昭一
藤田 節子
森山 菊江

石坂 シゲ
岡村佐和子
上村たつお
喜多村キヨ
佐藤 千秋
関 登代一
三輪 京子
目黒 せつ
山田 ちよ
山田 久子
渡辺登子一
佐藤 信

兵庫県西宮市住民と被災地交流 互いの絆を深めるー木沢集落ー

10月23日、24日、木沢集落に阪神・淡路大震災の被災地、兵庫県西宮市の復興住宅入居者の皆さん18名が訪れ、集落住民と交流を行い互いの絆を深めました。

これは今年1月、震災以降ボランティアで木沢集落を訪れている、大阪大学の学生との交流をきっかけに、集落住民17人が西宮市の復興住宅で被災者交流を行った際、「今度は木沢集落にも是非きてほしい」との呼びかけで実現したものです。

23日、バスで8時間余りをかけ木沢に到着した参加者は、1月の交流会で西宮から贈られた地藏菩薩のお堂前で、献花と午後5時56分に黙祷を行い、その後、遊亀庵で開催された集落住民との交流会に参加しました。

また、翌日は錦鯉の見学や集落内を散策、木沢公民館体育館では陶芸体験行い、茶碗や皿など思いおもいの作品づくりに挑戦しました。



手打ちそばでお昼を済ませた参加者一行は、二日間の日程を全て終了し、再会を誓い帰路に向かいました。

今回の交流会を主催したフレンドシップ木沢の会長星野秀雄さんは、「西宮の皆さんが来られるの楽しみに準備を進めてきました。遠路木沢まで来ていただいた参加者の皆さんと今回の交流により絆が更に深まり、末永い交流が出来るればと願います」と会の成功を振り返っていました。

地デジ放送 始まりますー！

年度内の本放送を目指し、準備を始めています

現在、年度内の本放送、年内の試験放送を目指して、十八番（通称）のテレビ塔内の施設を放送局各社で改修を進めています。

試験放送とは？

試験放送の主な目的は、送信した電波状態を確認したり、機器類の調整です。

このため、予告もなく、放送を一時的に中断したりすることがありますが、試験専用の放送を流すわけではなく、通常の放送が放映され、一般の受信者も地デジ放送を見ることが出来ます。

具体的な日程につきましては、詳細が決まりましたら広報紙等でお知らせします。

共同アンテナ改修に補助金が出る場合があります

難視聴解消を目的とした共同アンテナで、地デジ対応の為に多額の改修費が必要な場合、国の補助金制度があります。すでに今年3月に調査を行いました。該当になると思われる方は、総務課までお問い合わせください。

ホームページでも情報が掲載されています

地デジに関連し、「社団法人デジタル放送推進協会」がホームページを開設しています。興味のある方は一度ご覧下さい。

ホームページ

<http://www.dpa.or.jp/>

〇問い合わせ 総務課

☎ 89-3111

募集

川口町職員を募集します

町では、平成21年4月採用予定の職員を次のとおり募集します。総務課に詳しい募集案内と申込用紙がありますので、ご請求ください。なお、町ホームページからもダウンロードできます。

中級（一般事務職）

応募資格

昭和56年4月2日から平成元年4月1日までに生まれ、栄養士免許がある方（平成21年3月取得見込みを含む）

採用人員 1名

試験日

・第1次試験

期日

平成21年1月25日（日）

試験会場 川口町役場

・第2次試験

第1次試験合格者へ通知します。

申込方法

所定の申込用紙で11月25日（火）までに総務課へお申込みください。（郵送の場合も）

期限までに必着とします。 ※一般事務で採用しますが、栄養士の職務も含まれます。

問い合わせ 総務課

☎ 89-3111
FAX 89-2110

クリスマス音楽発表会 参加者募集

次の日程で、クリスマス音楽発表会を開催します。交流体験館「杜のかたらい」で、日ごろの練習の成果を発表してみませんか。ピアノやバイオリンなどのほか、コーラスグループなど、皆さんの参加をお待ちしています。

○日時 12月7日（日）

13時30分

○会場 交流体験館

「杜のかたらい」

○対象 町内在住又は勤務者

○定員 先着20組

○申込期限

11月14日（金）

○問い合わせ 教育委員会
☎ 89-2119

メラミン混入食品の情報についてお知らせ

中国において、メラミンが混入された粉ミルクが原因と思われる乳幼児の腎結石等の被害が生じたとの報道がされています。

日本においても、中国から輸入した加工食品の原材料として、メラミンの混入が確認された製造者の牛乳を用いていたことが確認され、全国的に回収が行われていますが、県内への流通は逐次的に増えることが予想されます。

これを受けて県では、県内で流通・販売されているメラミン混入食品に関する最新情報を、県ホームページ、保健所で提供していますので、活用ください。

県ホームページ

<http://www.fureaikan.net/syokunifo/topics/t080922.html>

問い合わせ 魚沼保健所

☎ 025-792-1145
☎ 025-792-8619

お知らせ

農業所得の収支計算 説明会を開催します

次の日程で、農業所得収支計算説明会を開催します。ご自分で収支内訳書の作成ができない方は、ぜひご参加ください。

○日時 11月26日（水）

14時～16時

○会場 小千谷市役所 大会議室

○講師 小千谷税務署職員

○持参するもの 筆記用具・電卓

○問い合わせ

小千谷税務署

☎ 83-2093

☎ 89-4414

○会場

堀之内社会福祉センター

○相談担当

県立小出病院副院長

鈴木孝明氏

（産婦人科医師）

○予約申込締切

11月21日（金）

○問い合わせ

魚沼地域振興局

健康福祉部地域保健課

☎ 025-792-8612

女性のための健康 相談会を開催します

思春期から更年期の女性及びその家族の方を対象にした、専門医による個別相談会を開催します。

相談内容

- ・妊娠、避妊、家族計画等に関する相談
- ・不妊に関する一般的な相談
- ・婦人科疾患、更年期障害等に関する相談
- ・性感障害等に関する相談
- ・その他、女性の心身の健康に関する全般的な相談

○日時 11月26日（水）

14時～16時

○会場

堀之内社会福祉センター

○相談担当

県立小出病院副院長

鈴木孝明氏

（産婦人科医師）

○予約申込締切

11月21日（金）

○問い合わせ

魚沼地域振興局

健康福祉部地域保健課

☎ 025-792-8612

東芝照明プレジジョン(株)より寄付をいただきました

10月13日（月・祝）に行われた震災復興祈念植樹の際、東芝照明プレジジョン(株)より「ふるさと森づくり」の苗木代として20万円の寄付をいただきました。大変ありがとうございました。



岡村町長と段野雄治新潟事業所長



植樹開会式の様子

～大切な生命と財産を火災から守るために～

住宅用火災警報器を設置しましょう!

建物火災の中でも、住宅火災による死者の割合が大半を占め、住宅火災による死者が増加していることから、平成18年6月1日に改正消防法が施行され、住宅火災による死者の減少を目的に一般住宅やアパートなど、個人が居住する建物に対して、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

新築住宅は **平成18年6月1日から** 設置が義務付けられています。

既存住宅は **平成23年5月31日まで** に設置してください。

◎火災警報器とは……火災を煙や熱（温度）で感知し、音や音声で火災発生を知らせてくれる警報器で、住宅用火災警報器には、煙感知式警報器を設置してください。設置することにより火災の早期発見につながります。

◎設置する場所は……①寝室として使用する部屋。②2階以上に寝室がある場合は、寝室がある階の階段の天井。③3階建て以上の場合は、寝室として使用する部屋のある階から2つ下の階の階段天井。④前記以外の場所については、小千谷地域消防本部予防課又は、川口出張所へお問い合わせください。

=小千谷地域防火管理協会から住宅用火災警報器を寄贈していただきました=

当町へ20台の住宅用火災警報器を寄贈していただきました。11月9日からの秋の火災予防運動に併せて、町内の一人暮らし高齢者住宅（対象10世帯）へ設置しました。



○問い合わせ 小千谷地域消防本部予防課 ☎ 83-0238 川口出張所 ☎ 89-2111

各種大会結果

(敬称略)

第3回魚沼市・川口町親善陸上大会 (9月19日・運動公園多目的広場)

- 5年女子
 - 100M走 3位 渡辺 真弓
 - 5位 内山 莉衣
 - 80Mハードル走 2位 原田 美紀 (大会新記録)
 - 800M走 5位 片山 千里
 - 走り幅跳び 3位 網 千里
 - 4位 桜井 麗
 - 走り高跳び 6位 平澤 友里
 - 4×100Mリレー 3位 川口 小
- 5年男子
 - 100M走 2位 山田 貴一 (大会新記録)
 - 80Mハードル走 1位 佐藤 大輝 (大会タイ記録)
 - 6位 目黒 功祐
- 6年女子
 - 走り幅跳び 4位 喜多村耕祐
 - 走り高跳び 4位 星名 翔太
 - 4×100Mリレー 4位 川口 小
 - 6年男子
 - 100M走 3位 網 玄太
 - 80Mハードル走 1位 渡辺 稜
 - 2位 上村 光平
 - 走り高跳び 4位 関口 智裕
 - 4×100Mリレー 5位 川口 小

魚沼市・北魚沼郡中学校 新人球技大会 (10月1日)

- 野球 (広神球場) 2位
- ソフトテニス (堀之内月岡公園テニスコート)
 - 女子団体戦 2位
 - 男子団体戦 3位
 - 女子個人戦
 - 1位 川上知香・桜井葵依組
 - 3位 星野佑果・浦井有香組
- 卓球 (小出郷体育館)
 - 女子団体戦 2位
 - 男子団体戦 3位
 - 1年女子個人戦
 - 1位 星野真奈巳
 - 2位 星野 琴美
 - 2年男子個人戦
 - 3位 堀沢 和磨
- バレーボール (堀之内体育館) 3位



震災復興4周年記念 グラウンドゴルフ大会 (10月13日・すばいく川口)

- 団体戦
 - 男子の部
 - 優勝 和南津公民館A
 - 2位 だーすけ東部
 - 3位 八宝なかよし会
 - 女子の部
 - 優勝 牛ヶ島美女1組
 - 2位 東部レディース
 - 3位 和南津花ざかりA
- 個人戦
 - 男子の部
 - 優勝 関 香
 - 2位 丸山強一郎
 - 3位 覚張 弘
 - 女子の部
 - 優勝 保科 きよ
 - 2位 丸山 明子
 - 3位 鈴木 イマ



錦鯉品評会 (10月18日・相川サンウッド)



総合優勝 (第65超部 紅白)

全体総合優勝 平沢 芳行

最優秀賞 増田 正利



右から
増田 正利さん
岡村町長
平沢 芳行さん

元気です!かわぐちっこ ⑬⑤

あおり 内藤 蒼利 ちゃん (川口3・4歳)

おとうさん 和明さん おかあさん とも子さん



歌とダンスが大好きな蒼利ちゃん。特に、ポニョやプリキユアの歌が大好きで、音楽が流れると、歌いながら元気に踊ります。最近、嵐の魅力にも気づき始めています(お母さんの影響?)。そんな蒼利ちゃんの毎日の日課は、保育園の帰りによつてえ広場でお友達と遊ぶことです。休日はお父さん、お母さんとちぢみの里脇の恐竜公園に遊びに行ったり、カラオケに行ったりして遊びます。大好きなラーメンやそばをいっぱい食べて、元気いっぱいこの正義感の強い蒼利ちゃんでした。

掲載者募集!

元気です!かわぐちっこ

元気です!かわぐちっこに、お子さんの写真を掲載したい方(4歳位まで)を募集しています。自慢のお子さんの、今この時の笑顔、この時の泣き顔など一瞬のその時を掲載しませんか? お子さんが成長しておおきくなったとき、きつと良き思い出となることでしょう。

までご連絡ください。なお、希望者多数の場合は、役場で選考のうえ掲載順を決定しますのでご了承ください。掲載の際には、写真・記事等にご協力いただきますのでお願いいたします。お問い合わせ 総務課 ☎89-3111

スター誕生



星野 煌人ちゃん

うぶごえ欄掲載者の中で、ご協力いただけただけの方のみ掲載しています。